

第7回 JCN 現地会議 IN 福島

2013.9.13

会津大学



会津若松市社会福祉協議会
若社協ボランティアセンター

会津若松市の状況

○震度5強

- ・人的被害（死者1名・軽傷6名）
- ・住宅被害（全壊4件・一部損壊330件）
- ・住宅以外の建造物破損（164件）
- ・公共建築物破損（38件）
- ・地盤（道路）の破損（317件）
- ・停電・断水の発生

<2011.6.2現在>



○幹線道路の被害と原発事故による物流の停滞

○食糧・飲料水・衣料品、日用品
ガソリン・灯油の供給制限による
市民生活の混乱





会津若松市社会福祉協議会の動き

23.3.11（金）本会サービス利用者等安否確認
被害状況の把握と今後の対応について協議

23.3.12（土）県社協より、沿岸部派遣要請を受け職員2名
派遣を決定（原発事故のため現地入り中止13日）

23.3.13（日）災害ボランティア設置

避難所開設による支援体制

避難所へ避難された方々に対する支援物資

ボランティアの募集開始

避難所へサテライトの設置⇒5.9（月）まで

避難所支援3交替勤務の開始



平時の社協事務所風景



発災後の社協事務所風景





会津若松市社会福祉協議会の動き

- 23.3.15（火）ふれあい体育館避難所運営支援でボランティア派遣開始 ⇒ 6.30（木）終了
- 23.3.16（水）河東総合体育館避難所で炊出し支援開始 ⇒ 5.19(木) 終了
- 23.3.18（金）旧高校体育館支援物資集積所本格稼働 ⇒ 7.30（土）閉鎖・・・シフトチェンジ
- 23.4.4（月）生活福祉資金緊急小口資金特例貸付開始～4月末
- 23.4.9（土）被災地社協への車輛貸出（相馬市VC）





集積所場所確保当時

集積所風景



集積所運営中期



集積所運営終了期





会津若松市社会福祉協議会の動き

23.6.9（木）被災地社協災害VCへ職員派遣開始
相馬市災害VCへ・・・9月まで

23.8.1（日）生活支援相談員3名配置

H23.3.25大熊町行政機能移転

それに伴い、大熊町社協と連携開始

- 大熊町社協相談員と合同相談室設置し
見守り訪問活動支援開始

⇒ H25.6.10(月) 合同相談室解消

- 支援物資集積所：大熊町生活支援VC主体へ
支援物資集積所の運営支援開始

⇒ 10.29（土）終了





会津若松市社会福祉協議会の動き

○被災地社協との連携

- 情報提供依頼と本会での訪問実施等に関する調査実施
H24.4・H25.4実施
- 現地連絡会への参加 H24.5～
 - ⇒ “**顔**” の見える関係づくり
 - ⇒ 今後の避難先社協としての支援のあり方
について
- 被災元社協開催支援会議への参加・・・大熊町社協
- 支援NPO主催会議への参加・・・情報交換と共有化



会津若松市への避難状況

総数 3,925人

○13市町村 3,828人

大熊町 2,615人

南相馬市 411人

浪江町 347人

○その他の8市町村 90人 36世帯

福島市 34人

郡山市 38人

○県外：宮城県より 7人 4世帯

<H25.6.30現在>



会津若松市への避難状況

避難者の年齢別割合

| 人数 | 未就学 | 小学生 | 13-18 未満 | 19-65 未満 | 65以上 |
|--------|------|------|-------------|-------------|-------|
| 3,925人 | 296人 | 349人 | 300人 | 2,149人 | 828人 |
| 割合 | 7.5% | 8.9% | 7.7% | 54.8% | 21.1% |





会津若松市社会福祉協議会の動き

○他市町村避難者への支援

H24.6.7（木）～被災地社協への調査より、情報の提供の
あった避難者への見守り訪問活動の開始

○会津地区一斉見守り訪問への支援（生活支援相談員による）

H24.6.7（木）～喜多方市内（大熊町）

H24.9.21（金） 若松市内・会津美里町・会津坂下町
（双葉町）

H25.9.2（月）～若松市内訪問開始（南相馬市）





会津若松市社会福祉協議会の動き

○被災地社協支援

- 避難者サロンへの運営支援
 - H24.12.17（月） 双葉町社協サロン
 - H25.4.22（月） 双葉町社協サロン第2回目開催
 - H25.6.3（月） 南相馬市社協サロン
- 被災地社協研修支援
 - H25.5.13（月） 双葉町社協内部
研修会職員派遣（継続）
 - H25.7.11（木） 相馬市社協生活
支援相談員研修派遣





会津若松市社会福祉協議会の動き

○自主避難者への支援

H24.8.27（月）自主避難者懇談会

H24.9.3（月） 自主避難者おしゃべり会 支援開始

毎月1回開催される、おしゃべり会に参加

- 保育
- 情報提供（避難元行政 ⇒ 社協間の連携で）
- 支援物資
- 支援団体とのつなぎ
（会津若松市ボランティア連絡会等でバザーを実施
新入学児への就学物資支援を実施）





会津若松市社会福祉協議会の動き

○他団体との連携

- 会津地区16社協との合同研修会の実施
⇒ 広域避難者への見守り活動等、本会の活動状況報告と
水害対応の振り返りの実施、今後の協力体制の確認
- スクールソーシャルワーカーとの連携
ワーカー主催のサロンへ参加し、運営支援
- 避難者の会への支援
あいづなみえ会 自主訪問活動支援
H25.8月から





会津若松市社会福祉協議会の動き

○関東ブロック社協の派遣受入

社協 千葉市社協 1クルー2名
期間 H23.3.20 (日) ~ H23.4.23 (土)
内容 支援物資集積所の運営
ボランティアコーディネート業務

○JC連合福島からの支援
集積所への定期的人員派遣
運営支援物資等の提供

○市民ボランティア
登録1,571名



市民・企業・団体が
つながり
それが
新たな、つながりを生んだ。





会津若松市社会福祉協議会として、これから

訪問・サロン活動の支援の継続しながら

◇避難者への支援

“会津”で暮らす、同じ土地の人として
この地で新たなコミュニティづくりをめざす

◇被災地社協への支援

支援者の多くは、自らが被災している中で
支援活動に従事している。
支援者への支援も、同じ組織の仲間として
取組む

“**心**を孤独にしない・させない”



第7回JCN現地会議IN福島



ご清聴頂きありがとうございました

